



人口減少と新しい未来

令和7年4月21日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

人口の増減は、社会と生活の是非を表すバロメーターである。正しい優れた社会と生活は、適正な人口の構築を与えるものである。

他方においては、過酷な生活環境は、自然に人口の減少を与えるのである。

これらは新たな社会構築と生活スタイルの育成への正しい指針である。地方行政と中央行政の連携における新たな社会と生活という絶対的な国家の基盤の育成へ、正しい理解と基準を求めることは可能なのである。

今日世界は新たな技術革新と新たな生活スタイルへの移行を自己に有するのである。それらが新たな社会と生活を与えるものであることは政治における絶対的に要求される理解なのである。

これは都市と地方の新たな関係や、社会と生活サイクルの創造など、新たな技術の活用における次世代社会と生活の創造を提案できるものと考えます。

またフランスが出生率2.0人を維持することは、人間が本来要求する自然との共生など社会の創造と生活における要求への正しい判断と理解を求めることができると考えます。

またこれら社会基盤が、今日の技術革新において次世代という新しい現実への転換を実現できるものであることは正しいはずです。

これらは中央行政がリードし、地方行政がこれら新規社会基準における新たな社会の創造を実現することなど、提案できるものと考えます。

これらは未来という新たな現実が今日存在する中、政治がこれら新しい社会のデザインを求め、産学官が連携しそれらの実現を得ることは、内需における産業の創成を与えるものであり、それらが今日の多様な問題の解決を集約し、新しい国家の実現を与えることができると考えます。